広報 ひめじ

HIMEJI CITY PUBLIC RELATIONS

2026（令和8）年
11
No.1173

住むほどに
好きが深まる
姫のまち

大和工業アリーナ姫路がついにオープン！
詳しくは**本誌2～5ページで！**

魅力を大解剖！

大和工業アリーナ姫路

10月に開館した、本市の新たなスポーツ拠点・大和工業アリーナ姫路（ひめじスーパーアリーナ）。市民の皆さんがスポーツに親しめるよう、設備を充実させた本施設を、もうご利用いただけましたか？　今回は本施設の魅力をご紹介します。

手柄山平和公園整備課・☎221-2422

広報推進員
大山純奈

広報推進員
高原詩織

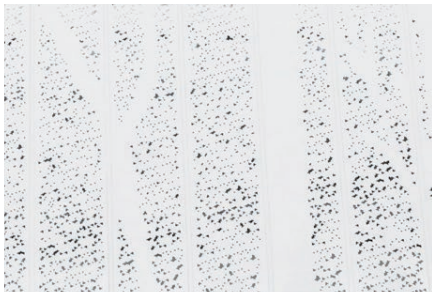
設計コンセプトは

人・地域・歴史をつなぎ、木立をまとうスポーツの聖地「GROVE（グローブ）」

手柄山の豊かな環境に溶け込み、自然や地域環境と共生できる建築を目指しました。「木立（GROVE）の木漏れ日の下でみんながスポーツを楽しみ、憩うことのできる施設」をイメージしています。

外観デザインは、周辺環境と調和し、全体的に手柄山の地形に馴染む、流れるような曲線としています。また、壁面の白いパンチングメタル（右の写真）の帯は**手柄山の森の木漏れ日**をモチーフに。さらに、ライトアップ演出では、木立の揺らぎの中に希望の輝きを宿した優しい光を表現することで、まるで月桂樹の冠のような、夢を育む「スポーツの聖地」にふさわしい演出としています。

本施設は、スポーツはもちろん、バーベキューやレストランで食を楽しむ、レジャープールで遊ぶ、広場を散策するなど、市民の皆さんが日常的に楽しめる憩いの場となっています。**人・地域・歴史を優しくつなぎ、GROVEの木漏れ日の下でさまざまな活動を楽しめる**本施設が、姫路の新たなシンボルとして、市民の皆さんに永遠に愛され続けることを願っています。ぜひ、お気軽に遊びに来てください。



手柄山の森の木々のシルエットや葉がつくる自然の陰影を、金属の板に穴を開けることで表現

内側からLEDで照らし、季節に応じた演出を実施

メインアリーナ Main Arena

★**客席は全部で約5,000席**（固定席約3,200＋可動席約1,800）。可動席は普段は収納されており、一般利用、興行利用のどちらにも対応可能。固定席・可動席間のガラスは一部が扉になっており、行き来ができます

★壁面には幅13.6㍍、高さ5.4㍍の大型モニター２台と、細長い帯状の「リボンビジョン」を設置。試合の得点時など、映像を使った演出で会場を盛り上げます

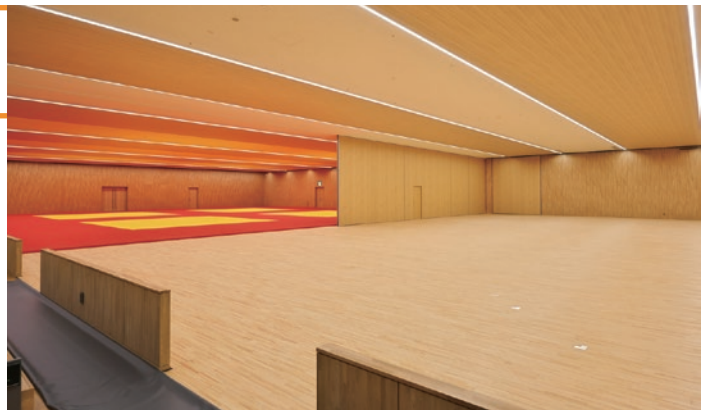
★大規模災害時には、このメインアリーナが救援物資の集積場所となり、輸送・集積基地として機能します。そのため、コンセントや空調、発電機による照明の確保など、防災機能を充実させています

こけら落とし公演を務めたロックバンド・**Novelbright（ノーベルブライト）の竹中雄大さん**からコメントをいただきました！

地元に音楽を楽しめる場所が増えてうれしいです。こけら落とし公演ということで、とても気合が入りました。大和工業アリーナ姫路はアクセスがとても良いので、今後、利用するアーティストも増えてくると思いますし、そうやって姫路がにぎわっていってくれたら僕もうれしいです

剣道場・柔道場 Kendo & Judo Hall

剣道場・柔道場は競技面が各４面。２室の仕切りとなる遮音壁を収納すれば、大きな１室としても利用できます（右の写真は、手前を剣道４面、奥を柔道４面として利用した場合）。床材にはヒノキを採用し、裸足での使用感に配慮。また、柔道場の畳は、全日本柔道連盟公認品を採用しています。



弓道場（近的・遠的） Kyudo Hall

県内最大級の規模！　10人立ちの近的場と６人立ちの遠的場を整備しました。特に、遠的場は市内初で、これまで本市では開催できなかった大会等での活用も期待されます。

近的場の練習室には、巻わらや全身鏡を設置しており、日々の練習にも利用できます。

ユニバーサルデザインにこだわった設計

ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、文化、身体の状況など、人々が持つさまざまな個性や違いにかかわらず、誰にとっても分かりやすく、使いやすくしようという考え方のこと。

市内の障害者団体と４回のワークショップを実施。車いす利用者、知的・精神・発達障害者、視覚障害者、聴覚障害者の意見を反映させました。

- ●発達障害などのある人が、楽しく待てるようなアイキャッチサインを作成し、男女共用トイレに設置
- ●トイレの手すりを追加
- ●車いすに座ったまま利用しやすい受付カウンターを整備
- ●メインアリーナと50㍍プール観客席にヒアリングループ(※)を設置

など、「誰もが使いやすい施設」となるような配慮・工夫を行っています。

※マイクの音声を、直接補聴器などへ伝える設備

車いすの導線確保

車いすが移動しやすいよう、メインエントランス入り口の点字ブロックを、中央の位置から少しずらして設置

センサリールーム

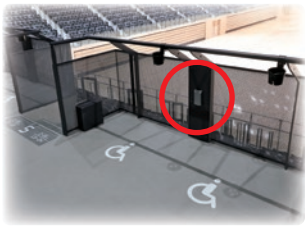
メインアリーナや屋内50㍍プールには、会場の大きな音が苦手な人向けに、個室を設置。親子でゆっくり観覧する部屋としても使えます

客席の手すり

安全な移動を手助けするため、客席通路の両側に手すりを整備。また、メインアリーナには、飲み物を置くためのカップホルダーも設置しました

車いす席

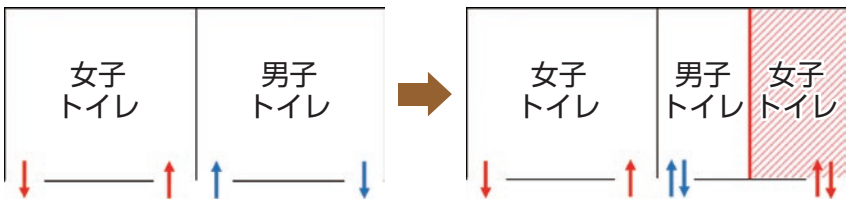
車いすに座ったまま競技が見やすいように、視線に配慮した手すりを設置。医療機器などを充電できるようコンセントも整備しました



トイレにも一工夫

イベントやコンサート等の内容により、来館者の男女比率は異なります。トイレの混雑を緩和するため、メインアリーナの男子トイレには、小便器を隠すためのロールスクリーンや可動間仕切りを設置。男子トイレを女子トイレに転用することもできます。

〈イメージ〉



50㍍プール

屋外附属プール

25㍍プール

屋内プール＆屋外附属プール Pool

★屋内50㍍プール（日本水泳連盟公認）
温水プールなので年中利用可能！　可動床により、水深を０～３㍍に設定でき、大会利用から市民利用まで幅広く対応できます。また、中央の可動桟橋を上下させることで２つの25㍍プールに分けて使用することも可能。

★屋内25㍍プール（日本水泳連盟公認）
50㍍プールに隣接しており、大規模な大会の際には補助プールとしても利用可能。競技用としてだけでなく、一般利用も想定し、プールに入りやすいよう、スロープを整備しました。水深は１．１㍍と１．４㍍の２段階に変更できます。

★屋外附属プール（９年夏供用開始予定）
新たな夏の風物詩として、家族で楽しんでもらえるよう、「だんだん深くなるプール」や「子どもプール」、「流れるプール」、「森のスライダー」の４種類を整備。７～８月はナイトプールの実施も予定しています。

手柄山平和公園整備課職員のコメント

子どもの頃から屋外附属プールで水に親しんでいただき、ゆくゆくは屋内プールを活用してトップスイマーに！　普段スポーツをしない人も楽しめるよう、レジャー用のプールを整備しました。ぜひ家族でご利用ください

他にも、
- 卓球場
- トレーニングルーム
- キッズルーム
- 多目的広場
- バーベキューを楽しめるエリア
- レストラン
- コンビニ

…など、魅力が盛りだくさん！

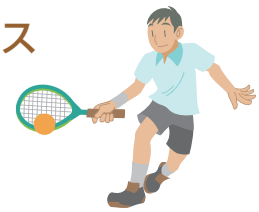
施設の詳細や利用方法・料金など、詳しくはウェブサイトで確認を。皆さん、ぜひ大和工業アリーナ姫路にお越しください♪

【大和工業アリーナ姫路】
所在地　西延末450
開館時間　午前９時～午後９時
休館日　12月28日～１月４日
☎260-6625

開館記念イベントに市民を無料でご招待♪

大和工業アリーナ姫路の開館を記念して開催されるイベントに市民を無料で招待します。　▶スポーツ振興室・☎221-2862

2026 JAPANソフトテニスアカデミー in姫路



◆日時　12月20日㈰、午前９時～午後４時半
◆場所　大和工業アリーナ姫路
◆内容　日本・台湾代表選手による国際親善ソフトテニス大会を開催。トップ選手のプレーを見られる絶好の機会です！
◆定員　100人

申し込みなど

11月30日㈰までに、ウェブサイトで**スポーツ振興室**へ（応募多数の場合は抽選）。当選者には電子メールでお知らせします

※チケット引き換え時に、本人確認を実施する可能性があります
※イベント内容など、詳しくは問い合わせを

Himeji 大手前通り・姫路城 イルミネーション あたら夜

2026 11/20㈮ ▶ 2027 1/11㈷

午後5時～10時 ※初日は午後5時45分ごろに点灯

in　大手前通り～姫山公園（姫路城周辺）～姫路城三の丸広場

今年は大手前通りのイルミネーションに加えて、姫路城周辺までエリアを拡大。昨年度の25万球から約51万球にスケールアップしたイルミネーションが、まちを華やかに彩ります。光が演出する、あたら夜（明けるのが惜しいほどの美しい夜）をお楽しみください。

▶産業振興課・☎221-2453

あたら夜まわりみち

桜門橋での雲海ライトアップ「雲海の綾波」や姫山公園でのライティングショー「あたら夜の宴　水と光のシンフォニー」など、日常を離れ、時の流れを忘れるような幻想的な空間を楽しめます。

11月22日㈰、午後4時半～5時半（予定）には、姫山公園で“いい夫婦の日”お祝いセレモニーも開催

点灯セレモニー

イルミネーションの開幕セレモニーを実施します。パートナーや家族に感謝の気持ちを込めて贈るバラも配布します。

◆**日時**　11月20日㈮、午後5時半～

◆**場所**　姫路駅前

あたら夜の夢鏡

yumekagami

姫路城三の丸広場で、過去に好評を博した水鏡を設置します。雪・月・星を思わせる白を基調とした光と、水面に映る映像が幻想的な空間を演出。歴史と調和した、感動的な夜間体験を楽しめます。千姫ゆかりの八角形の硯をモチーフにした回遊型イルミネーション「八千代の祈り」や、石垣を舞台にしたプロジェクションマッピング「百華絵巻（ひゃっかえまき）」なども。

◆**期間**　第１期：11月20日㈭～12月６日㈰、第２期：12月７日㈪～９年１月11日㈷

※第１期と第２期で演出内容が一部異なります

◆**問い合わせ**　姫路観光コンベンションビューロー・☎280-8883

第１期には、ストリートピアノ演奏（事前応募制）や飲食ブースも楽しめます！

夜の和船運航

期間限定の和船夜間特別運航を実施。今年から新エリアに加わった、お城周辺のイルミネーションスポットを和船に乗って楽しめます。有料。当日受け付け。詳しくはウェブサイトで確認を。

◆**日**　11月20日㈭～22日㈰・27日㈭・28日㈮、12月４日㈭・５日㈮

◆**場所**　姫路城（内堀南側）

イルミネーションを見ながら食を楽しもう！

姫路おいしい夜さんぽ＆姫路食博

大規模な食の祭典！　大手前公園に姫路・播磨のご当地グルメの店舗やキッチンカーが集結します。お城周辺の散策と共に、地元の多彩なグルメをお楽しみください。

▶観光コンベンション室・☎221-1520、姫路食文化協会・☎224-8803

◆**日時**　11月21日㈮～23日㈷、午前10時～午後８時半（一部エリアは午後５時まで）

秋から冬へ　季節を楽しむ

秋が深まり、冬の足音が聞こえてくるこの時期。季節の移ろいを感じながら、姫路のまちへ出掛けてみませんか。

書写山もみじまつり

書寫山圓教寺（しょしゃざんえんぎょうじ）で、恒例の書写山もみじまつりを開催します。十妙院や金剛堂、開山堂のほか、新たに国の重要文化財に指定される木造性空坐像を特別公開。夜間には紅葉ライトアップも。

▶観光コンベンション室・☎221-1520、書寫山圓教寺・☎266-3327、書写山ロープウェイ・☎266-2006

◆日時　11月21日㈯～23日㈷、文化財特別公開は午前10時～午後４時、ライトアップは午後５時～８時

◆料金など　入山志納金（中学生以上800円、小学生500円）が必要。書写山ロープウェイ往復利用の場合は、大人（中学生以上）1,200円、小人（６歳～小学生）600円が必要です

木造性空坐像は11月１日㈫～30日㈪に特別公開！

紅葉会（もみじえ）

好古園内の紅葉した木々を日暮れとともにライトアップし、昼間とは異なる夜間景観を演出します。

▶好古園・☎289-4120

◆日時　11月17日㈫～12月６日㈰、午前９時～午後８時（入園は午後７時半まで）

◆入園料　大人（18歳以上）400円、小人（18歳未満）無料

もみじ茶会

好古園内の茶室・双樹庵で、一夜限りのお茶会を開催します。気軽に茶道の魅力に触れてみませんか。観覧の途中にお立ち寄りください♪

▶好古園・☎289-4120

◆日時　11月21日㈯、午後５時10分～、５時55分～、６時40分～（各回30分。当日受け付け、先着順。満席になり次第受け付け終了）

◆定員　各回15人程度

◆参加費　1,000円（別途入園料が必要）

横手の雪まつりin姫路城

秋田県横手市の「かまくら」が本市にやって来ます！　「かまくら」と写真撮影ができるほか、「雪のすべり台」も楽しめます。横手グルメの出店や姫路の日本酒の試飲も。ぜひお越しください。

▶産業振興課・☎221-2513

◆日時　11月28日㈯・29日㈰、午前11時～午後６時（29日は午後４時まで。かまくらの見学は28日が午後８時まで、29日は午後６時まで）

◆場所　城見台公園、東御屋敷跡公園

千姫フェスティバル

壽亀山天樹院弘経寺の学芸員・土井義行さんが「新見解　千姫さま物語～激動の戦国末期を生きた姫君～」と題して講演します。その他、紙芝居や創作ダンス、城山みつきさんによる歌唱など、千姫の魅力が伝わるプログラムを実施。ぜひご参加ください。

▶観光コンベンション室・☎221-1500、姫路千姫顕彰会・☎292-7800

◆日時　12月23日㈬、午後１時半～４時半（開場は午後１時）

◆場所　姫路キャスパホール

◆対象・定員　市民。200人（応募多数の場合は抽選）

◆申し込み　11月30日㈪までに、ウェブサイトで**観光コンベンション室**へ

第3弾 子どもの学校改革 応援プロジェクト
～自分たちで、学校を変える！～

子どもたちが考える未来型の学習空間を実現するため、クラウドファンディングを実施しています。ぜひご協力ください。
▶教育委員会総務課・☎221-2745（プロジェクトに関して）、ひめじ創生戦略室・☎221-2834（ふるさと納税に関して）

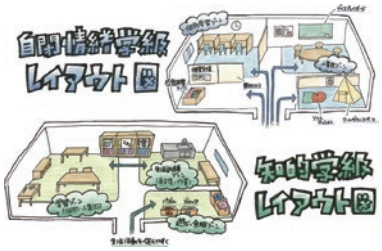
目標金額 750万円
募集期間 ～12/31㈭

実現したい内容

城乾小学校
互いにつながる「いぬいの間」
和室の良さを生かして、子どもたちが自分らしく過ごせる居場所を創ります

豊富小中学校
みらい創造ライブラリー
義務教育学校１～９年生が集まり交流できる図書室を目指します

御国野小学校
未来の教室デザイン
子どもと専門家が協力し「未来の特別支援学級」のデザインに挑みます



市民の皆さんも、市外在住の人も、姫路を想うすべての人が、ふるさと納税で支援できます。寄付による税金の控除も受けられます。寄付はこちらから ⟶

12月3日～9日は 障害者週間

障害者週間は、国民が障害や障害者に対する関心と理解を深め、障害者の社会参加への意欲を高めることを目的に障害者基本法で定められています。本市では障害のある人もない人も、共に自分らしく生きられるまちを目指しています。

ひめじよっといで文化祭
▶障害福祉課・☎221-2454

障害のある人が作品や演奏等を披露します。

日　時		場　所	内　容
12/ 5㈯・ 6㈰	10:00～16:00 ※６日は～15:00	手柄山交流ステーション３階	個人・事業所作品展
12/ 6㈰	10:00～15:00		ステージ発表（にじいろコンサート）
９年１/15㈮～22㈮	9:00～17:00	市役所１階市民ロビー	巡回展（てのひらアート）
９年１/23㈯～２/11㈷	終日	姫路駅前中央地下通路	

※施設の閉館日は開催していません

「手話言語の国際デー」ライトアップ

９月23日、「手話が言語である」ことの認識を広めるため、姫路城とアクリエひめじをシンボルカラーである青色にライトアップしました。

ルネス花北公開セミナー
▶総合福祉通園センター・☎288-7122

日本ケアラー連盟理事でフリーライターの児玉真美さんが「ケアする人をケアするということ～障害のある人の親への支援を考える～」と題して講演します。

◆**日時**　12月６日㈰、午後２時～４時（受け付けは午後１時半～）
◆**場所**　すこやかセンター
◆**定員**　150人（先着順）
◆**申し込み**　11月10日㈫～30日㈰に、ファクスかウェブサイトで住所、氏名・ふりがな、電話番号と配慮が必要な場合はその旨を**総合福祉通園センター（ファクス224-3173）**へ

8/24 姫路の農業のこれから

本市では、市民の皆さんの意見を市政運営に生かすため、市長と直接意見交換を行う対話型広聴活動を実施しています。今年度は、市内で意欲的に農業に取り組む認定農業者４人を招き、「姫路の農業」をテーマに意見交換。地域の高齢化や過疎化により、水路や農道などの維持管理が困難な現状や、農業を次世代へ継承していく仕組みづくり、農業で収入を得るための工夫などについて活発な議論が交わされました。

8/15 平和への祈りを込めて

終戦の日に、市民会館で「姫路市戦没者追悼式」を挙行しました。冒頭の式辞で清元市長は「平和の尊さと戦争の教訓を次世代に語り継ぎ、希望に満ちた共生社会の実現を目指す」と述べ、平和への誓いを新たにしました。式典には戦没者遺族ら約300人が参列。会場のスクリーンでは、日本武道館での全国戦没者追悼式の様子を放映し、正午に合わせて、全員で黙とうをささげました。昭和20年（1945年）の２度にわたる姫路空襲では、約500人が命を落としたほか、約１万300戸の家屋が全焼するなどの甚大な被害が発生。参列者らは、平和への祈りを込めて、献花台に白い菊の花を手向けました。

市長随想　しせい惻怛（そくだつ）

冬の灯、あたら夜

8月28日、台北市立大安高級工業職業学校留学生の市長表敬訪問で

姫路市長
清元秀泰

冬の訪れとともに、姫路のまちが光に包まれる季節が近づいてまいります。

今年も11月20日から１月11日までの53日間、姫路の冬の風物詩である「Himeji大手前通り・姫路城イルミネーション『あたら夜』」を開催いたします。

本年は、本市のシンボルロードである大手前通りに加え、姫山公園、姫路城三の丸広場まで会場を広げ、全長約２．５㌔にわたる光の回廊を創出いたします。LED数も昨年度の約25万球から約51万球へと大幅に増え、姫路城周辺に新たなイルミネーションスポットが加わります。桜門橋での雲海ライトアップ、姫山公園でのライティングショー、姫路城三の丸広場の幻想的なライトアップなど、さまざまな光の演出が、冬の夜の姫路をいっそう華やかに彩ります。

また、期間限定で姫路城の内堀を巡る和船の夜間特別運航も行います。船上から眺める姫路城周辺の景色は、日常とは異なる趣があり、姫路の新たな魅力を感じていただけるものと期待しております。

市民の皆さまには、ご家族やご友人と共に、光に彩られたまちをゆっくりと歩きながら、冬の姫路をお楽しみいただければ幸いです。これからも、姫路城を核としたまちの魅力を積極的に発信し、中心市街地のにぎわい創出と観光振興に取り組んでまいります。

市政への意見や提案をお寄せください
●市民アイデアポスト　市役所や各支所などに設置
●市政ふれあいメール　ウェブサイトなどから送信

8/27 美術文化への多大なる貢献に感謝

市内の医師・國富彩さんが、公益のために私財を寄付した個人などに国から贈られる「紺綬褒章」を受章したことに伴い、伝達式を開催。今回の受章は、７年３月、國富さんが近代絵画の巨匠ポール・セザンヌの水彩画「木立」を美術館へ寄贈したことによるもの。清元市長から褒状を受け取った國富さんは、「より多くの人に鑑賞してもらうことが、絵にとっての幸せ」と思いを語りました。「木立」は1884～1886年に制作された、鉛筆と水彩による作品。セザンヌ作品は同館で初の収蔵となります。清元市長は「人類の宝として作品を後世につないでいきたい」と感謝の意を述べました。

8/25 子ども・若者の声を市政に届ける

市議会本会議場で、こども・若者会議「ひめじＶＯＩＣＥプロジェクト」の意見発表会を開催しました。本プロジェクトは、子どもの意見表明権を大切にすることを目的に、７年度からスタート。２年目となる今年は、19人の子ども・若者の皆さんが参加し、学生の居場所づくりや姫路を住み続けたいまちにするための提案、スマホ依存を減らすアイデアなど、会議でまとめた意見を発表しました。発表後は、提案に対する清元市長からの講評と市職員によるフィードバックが行われ、参加者は熱心に耳を傾けました。本市は今後も、子ども・若者の声を市政に反映する取り組みを進めていきます。

知っていますか？

未来を守る薬の話

抗菌薬の効かない「薬剤耐性菌」から命を守るために、私たちができることを考えてみませんか。 ▶地域医療課・☎221-2399

AMR（エーエムアール）（薬剤耐性）ってなんだろう？

AMRとは、細菌などが変化して、これまで効いていた抗菌薬が効きにくくなったり、効かなくなったりすることです。抗菌薬で治せるはずのけがや病気が治療困難になるほか、手術やがん治療などの感染症対策が必要な医療行為が実施できなくなるなどのリスクがあります。

処方された抗菌薬は指示通りに使おう

抗菌薬の不必要・不適切な使用は、薬剤耐性菌が増える原因の一つになります。症状が良くなっても、自己判断で服用を中止したり、残った抗菌薬を後で使用したりせず、**医師や薬剤師の指示通り、最後まで服用**しましょう。

AMRについて、詳しくはウェブサイトで確認を

「ひめじ播磨マッチボックス」であなたに合った働き方を！

仕事探しのための市公式ウェブサイト「ひめじ播磨マッチボックス」が10月からスタート。本市をはじめ、播磨圏域（８市８町）のスキマバイト求人などを掲載しています。ライフスタイルや目的に合わせた、あなたにぴったりの仕事が見つかります。ぜひご利用ください。

▶労働政策課・☎221-2094

家事や子育てのスキマ時間に！

空いた時間だけ入れるから助かっています

副業・兼業や新しい体験のために！

ずっとやってみたかった仕事が掲載されていたので初挑戦！

就職先探しに！

近所でこんなに仕事があるのを知らなかった！

安心して働ける環境を整備

- ●市公式サービスだから安心！
- ●給与の即払い申請可※1
- ●面接不要で数時間単位から勤務可能
- ●利用料無料※2

※１　即払いの可否は法人ごとに異なります
※２　利用時に発生する通信料は利用者負担です

まずはWEBで会員登録を

どんな仕事があるのかを見てみるだけでも大丈夫！　会員登録はスマホで簡単にできます

問い合わせ
電子メールでMatchbox Technologies（電子メールアドレスpartner-support@matchbox.jp）へ

会員登録はこちらから

住宅用宅配ボックスを設置しませんか？

宅配物の再配達を抑え、温室効果ガスの排出を減らすため、市内の住宅などに設置する宅配ボックスの購入費用の一部を補助します。

▶環境政策室・☎221-2462

申請受付期限

9年2月26日㈮

予算がなくなり次第、受け付けを終了します

申請できる人

次の①か②のいずれかに該当する人
①申請日時点で本市に住民票を有する個人
②本市にある共同住宅等の所有者・管理組合

補助内容

申請者	補助額
①個人	対象経費の２分の１（補助上限額：２万円）
②共同住宅等の所有者や管理組合	対象経費の２分の１（補助上限額：10万円または宅配物の収納箇所に１万円を乗じた額のうち、いずれか少ない額）

購入・設置後に申請を。申請の条件や方法など、詳しくはウェブサイトで！ ▶▶▶

11月30日は人生会議の日

人生会議を始めよう

―心豊かに、最期まで自分らしく暮らすために―

「人生会議」とは、もしもの時のために、あなたはどう過ごしたいか、どんな医療やケアを受けたいかを、大切な人と話し合っておくこと。最期まで心豊かに自分らしく暮らすため、「人生会議」を始めてみませんか。

高齢者支援課・☎221-2451

姫路市医師会会長・國部伸也さんに聞く「人生会議」のここが知りたい！

どうして「人生会議」が必要なの？

これまでの歩みを振り返り、自分にとっての「大切（価値観）」を再確認するためです。その基準を家族と共有しておくことは、最期まで自分らしく生きるため、そして家族の心の負担を軽くするための大切な指針となります。

何を話せばいいの？　重苦しくない？

医療の話に限らず、「これからどう生きたいか」「何を大切にしたいか」というあなたの価値観を語り合ってみてください。日常の何気ない会話の中にこそ、あなたらしい生き方のヒントが隠れています。

途中で気持ちが変わっても良い？

価値観は日々の暮らしの中で変化するものです。一度で決めようとせず、繰り返し対話しながら、思いを更新していくことが大切です。

市民の皆さんから寄せられたお悩み

「話したいけどきっかけがない」。親世代と子世代、それぞれの悩みがあるようで…

- 子どもに迷惑をかけたくない。でも、何から話せばいいのか分からない（80代）
- もしもの時に親がどうしたいのか知りたい。でも、縁起でもないし、なかなか切り出せない…（50代）

國部さんからのアドバイス

お互いを思うからこその悩みですね。まずは医療の話をいったん置いて、「最近何をして過ごすのが楽しい？」といった会話をきっかけに話を広げてみてください。それが、お互いの人生を尊重し合う第一歩になります。

もっと「人生会議」を知りたい人へ

講座「落語で楽しく！　人生会議」

行政書士で社会人落語家の生島清身さんが、「天国からの手紙」をテーマに、落語と講演を通して人生会議の大切さをお伝えします。

◆日時　12月12日㈯、午後２時～３時半
◆会場　姫路市医師会館本館５階大ホール（西今宿3-7-21）
◆対象・定員　市民。130人（先着順。定員を超えた場合のみ連絡）。オンラインは定員なし
◆申し込み　11月10日㈫～12月４日㈭に、電話かファクス、電子メールで件名、住所、郵便番号、参加者全員の氏名・ふりがな、年齢、電話番号と参加方法（会場かオンライン）を姫路市在宅医療・介護連携支援センター（☎295-3330、ファクス295-3351、電子メールアドレスmed-care@himeji-med.or.jp）へ。ウェブサイトからも申し込めます

WEBで簡単申し込み♪

出前講座

専門職員が、地域の集まりやサロン活動の場などへ出向き、人生会議について学べる講座を実施します。受講した人には、「受講証（人生会議知ってる隊）」をお渡しします♪　講座を希望する人は、電話で**高齢者支援課**へ。

パンフレット

人生会議の進め方をご紹介。実際に人生会議で使える記録シートも。市ウェブサイトからダウンロードできます。